

こんな活動やっています



花と緑と歴史文化にふれあえる里山づくり

「正法寺山を愛する会」

正法寺山（362m）は鎌掛地区のシンボルであり、地区を見守る里山です。この正法寺山が長年、山の手入れがされなくなって雑木が茂り、枯れ松の倒木などで荒れていました。平成20年度に滋賀県の「琵琶湖森林づくり県民税」による里山リニューアル事業を実施しましたところ、里山がよみがえり子どもでも登れる里山になりました。頂上からの見晴らしはすばらしく、鎌掛地区の全景から日野町の中心部、遠くは八幡山から比良山まで望めるようになりました。地元では引き続き整備をし、今年度は「正法寺山散策案内看板」（30m×30m）を2基設置するとともに、登山道の整備や案内標識を設置して誰でも登ってみようと思えるようにしました。さらに、頂上に新しく観音堂を設置し、観音様が頂上から鎌掛を見守っていただけのようにになりました。



頂上に向かってみんなで登山

このリニューアル事業をきっかけとして、正法寺山周辺を長く整備、維持管理していくと「正法寺山を愛する会」を発足させました。この正法寺山周辺には、「藤の寺正法寺」、「日野ダリア園」、国の天然記念物に指定されている「屏風岩」、戦国時代の山城跡「鎌掛城跡と山屋敷跡」など、花と歴史文化にふれあえる場が多くあります。「正法寺山を愛する会」では、これからの活動としてアシサイやミツバツツシを植樹し、春から秋まで楽しめる「花と緑と歴史文化にふれあえる里山」にしたいと夢をふくらませているところです。

日野町鎌掛地区の正法寺山に関するお問い合わせは、鎌掛連立会 かやの会館内「正法寺山を愛する会」
0748-5210069 まで。

山楽のしみ方

正法寺山周辺の楽しみ方

正法寺山周辺は、春には国の天然記念物に指定されている「ほんしやくなげ群落地」、「藤の寺」の観光客、春から秋には「日野ダリア園」の観光客でにぎわいます。また、歴史文化の史跡も多く、「藤の寺正法寺」は臨済宗妙心寺派の禅寺で普門山正法寺と言い、ご本尊は十一面観世音菩薩で、33年に1度ご開帳される秘仏であり、昔から安産の守護仏として深く信仰されています。

また境内には、国の重要文化財に指定されている「石造宝塔」があり、その他大日堂、天満宮社、金毘羅社、稲荷社が建ち並んでいます。正法寺山の中腹には岩を削って祠を作り石造を祀った行者堂もあります。



正法寺山散策案内図看板前にて「どの道を通ろうかなあ？」

正法寺山の東側には、鎌掛城跡「城山」（373m）があり、そのふもとには、国の天然記念物に指定されている「屏風岩」や蒲生氏郷の父、賢秀が隠居した「山屋敷跡」があります。まさに正法寺山周辺は、花と歴史文化にふれあえる場所です。これらを散策して、正法寺山に登り眺望を楽しんでいただけると考えているところです。山には、約20分、30分で頂上に到着です。

これからの計画ですが、正法寺山の登山口周辺から屏風岩にかけての散策道周辺に、アシサイを植樹して初夏にも楽しめる場所にと考えています。

またまだ周辺整備はこれからですが、「花と歴史文化にふれあえる里山」として、みなさんに楽しんでいただけるよう夢を大きくもって活動しています。



正法寺山散策案内図

琵琶湖森林づくり事業 特集！ part2

‘琵琶湖森林づくり事業’って？

滋賀県では、平成16年度に施行された「琵琶湖森林づくり条例」に基づき、平成18年度より県民の皆様から「琵琶湖森林づくり県民税」をいただき、「琵琶湖森林づくり事業」として様々な事業を実施しています。



シンボルマーク

【琵琶湖森林づくり基本計画の基本施策】

- ①環境に配慮した森林づくりの推進
- ②県民協働による森林づくりの推進
- ③森林資源の循環利用の促進
- ④次代の森林を支える人づくりの推進

県民参加の里山づくり事業



住民自ら森林整備作業



風倒木の整理



薪割り



雑木林の整理

〇2つの事業の違い

県民参加の里山づくり事業
里山保全グループが協働で実施する里山保全活動に対して助成する
里山の整備が目的
里山協定林
複数の里山保全グループと市町
里山保全活動
2/3、ただし上限40万円/年
必須
森林整備と施設整備が可能
集中型

この事業は、その名のとおり県民のみなさんが里山を整備することを支援する事業です。別名「里山協定林推進事業」と呼ばれるように、市町と森林所有者と里山保全グループ（複数の団体）とが協定を締結した里山《里山協定林》をフィールドに計画から実行までを協働して継続的に行う保全活動等を支援します。

具体的には、里山保全グループが行う里山整備や普及啓発等の活動を行われた場合や機械器具を購入した場合に補助金を支払います。また、市町が里山保全グループの活動を補完するような森林整備や施設整備等を行う場合にも補助金が支払われます。

●中部森林整備事務所管内の里山協定林（平成21年度現在）

- ・荒神山協定林（彦根市） 3.40 ha 2団体
- ・佐和山・富之郷協定林（彦根市・多賀町） 3.70 ha 2団体
- ・五個荘箕作山・織山協定林（東近江市） 71.0 ha 4団体
- ・沖島協定林 54.80 ha 2団体

県民協働による森林づくり 編

みんなの森づくり活動支援事業

滋賀県では、県民協働による森づくりを推進するために「みんなの森づくり活動支援事業」を実施しています。県民のみなさんが森林づくりに積極的に参画いただく場所づくりや、地域の活動団体による森林づくりを支援しています。また、流域の森林づくりのあり方について、県・市町等に提案するなどの主体的な活動を行う組織づくりを行うことによって、地域の特性にあった森林づくりの支援もしています。今回は、「県民参加の里山づくり事業」と「みんなで始めよう森づくり活動公募事業」を紹介します。

みんなで始めよう森づくり活動公募事業

項目	みんなで始めよう森づくり活動公募事業
概要	NPO等が提案する琵琶湖森林づくり基本計画に即した活動等に対して助成する
目的	より良い森林づくりにつながることが目的
どこで?	滋賀県内
だれが?	NPO、地域住民グループ、および森林ボランティア団体等
何を?	琵琶湖森林づくり基本計画に即した活動
補助金額	2/3、ただし上限20万円/年
市町、森林所有者との協定	不要（ただし、森林所有者等の同意は必要）
市町の整備	なし
タイプ	分散型



伐採作業



森林の中でパン作り



草刈り



みんなで落ち葉かき

この事業は、より多くの方が（みんなが）森林づくりに参加していただくための活動をしている団体を支援する事業です。琵琶湖森林づくり基本計画を進めるために4つの基本施策に当てはまる活動をする各種団体を支援します。森林との関わりは人それぞれです。直接森林の手入れをしていただく団体、森林の良さを多くの方に伝えていただく団体、森林から生まれた木材の利用を進めていただく団体など、様々な形での活動が対象となります。

この事業は公募形式です。毎年度末、応募いただいた団体を公平に審査して採択しています。

●中部森林整備事務所管内の活動団体（平成21年度現在）

- | | |
|------------------------|-----|
| ① 環境に配慮した森林づくりを推進する団体 | 7団体 |
| ② 森林資源の循環利用を促進する団体 | 8団体 |
| ③ 次代の森林を支える人づくりを推進する団体 | 7団体 |
| ④ ①～③をサポートする活動をする団体 | 5団体 |

間伐の促進

滋賀県の全体面積のうち、約半分が森林です。そのうち、約4割の森林は人間が苗を植えて育てた人工林と呼ばれる森林です。今、県内で育てている人工林のうち、約6割は積極的に手入れをしていく必要があるといわれており、特に間伐の遅れが目立っています。効果のある対策は、間伐です。

間伐とは、成長して混み合った人工林の立木を伐り、適切な間隔をあけることをいいます。いろいろな恵みをもたらしてくれる森を維持していくために行われる作業です。

もし、間伐をしない状態で、そのままにしておくとうなるのでしょうか。木が混み合った森林の中の木は、枝が伸び放題になり、林床まで十分な太陽光が当たりません。光が当たらず、林内は暗くなるため、木々の下に生える草や低木が生えにくくなります。そして、雨が降ると林床表面の土が流されます。たくさんの土が流されると、その森林や山の地力が弱くなってしまいます。そして、木の成長がとまる・曲がる、病害虫の被害に遭いやすくなる、など木が弱ってしまいます。被害が大きくなると、将来木材として十分に活用できないこともあります。

1本1本の木が元気に育って、いい森林になるには、間伐をしてきちんと手入れをすることが重要です。適切な間伐をして元気に

森林が育つと、たくさんいいことがあります。中でも、滋賀県内や自分の住んでいる地域で生産された木材を利用すると、二酸化炭素の成分である炭素の固定に協力し、地球温暖化の防止に一役買えることができます。きちんと間伐・手入れすることは、森林・動植物・人間・地球を元気にすることにつながります。ぜひ、間伐を進めましょう!

滋賀県では、琵琶湖森林づくり事業の一環として、次のような森林を育む間伐材利用促進事業を行っています。ご活用ください。

(1) 地球温暖化防止対策間伐材利用拡大事業（森林組合対象）

森林所有者から間伐材の買い取りを行った場合、環境貢献価格と市場流通価格の差額を助成



(2) 間伐材搬出対策事業（市町または森林組合対象）

簡易な間伐材搬出路作設の支援

2030年 あなたならどっち?

今から21年後の滋賀県ってどうなっているんでしょうか?このままいったらA?それともB?どちらに進むかは、今の私たちの選択にかかっているのかも?

A

B

① 会社が...

② 子育てに専念したいので、会社を辞めて転職しよう。

女性に子息を持つと、仕事を続けられない。

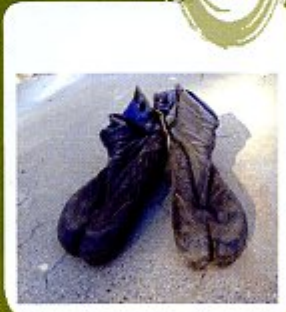
女性は子息を持つと、女性特有の能力を社会に生かせない。

夫も妻も仕事を辞めたら、子供を養育できない。

子供を養育しない夫婦がいっぱい!



地下足袋 (じかたび)



日本中の様々な現場でも見られるが、山での作業でもやっぱりこれ。つま先に股があることで“グツ”と力が入る。足にピッタリとなじむので靴よりも疲れがでない。不安定な足場が多い山の作業では必需品ともいえる道具である。

この地下足袋、こだわりを持つ人が多い。足にフィットしているものが当然良いのだが、なかなか無い。逆に足が痛くなることも少なくない。さらに、山では斜面が多いのでスパイク付のものがよく使われるが、あえてスパイクのないものを選ぶこともある。木に登るときには木を傷つけやすいし、岩や石が多い場所ではかえって滑りやすくなるからだ。

泥まみれの姿から誇らしげな声がする。

— 山仕事は足元から — (コラム担当 力)

編集後記

無事発行することができ、ほっとしています。今年の冬は暖冬で過ごしやすいようですが、インフルエンザの流行など心配もあります。体調に気をつけて、よいお年をお迎えください! 来年も、中部森林整備事務所ともりん・ちゅ湖東をよろしくお願いします。(富中)